

2. 専門基礎分野

専門基礎分野目標：人体を系統立てて理解し、健康・疾病・障害に関する観察力、判断力を強化する。また、健康や障害の状態に応じて社会資源を活用できるように必要な知識と基礎的能力を養う。

人体の構造と機能

科目名	解剖生理学 I		
担当講師	栗原 みな子	単位数 (時間)	2 単位 (60 時間) <1 年前後期>
科目目標	人体の正常な形態、構造について系統的に学び、生命現象の意味を看護学の視点で理解する。 【設定理由】人体の構造を系統的に理解し、看護の視点で活用できるように総合的に学ぶ。		
科目構成	回数	科目内容	学習方法
	1・2 3～6 7～10 11～14 15 16・17 18～21 22～25 26～29 30	解剖生理学のための基礎知識 栄養の消化と吸収 呼吸と血液のはたらき 血液の循環とその調整 前半のまとめ 体液の調整と尿の生成 内臓機能の調整 身体の支持と運動 情報の受容と処理 後半のまとめ	講義
評価方法	前半後半の筆記試験（平均点）で評価する。		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院		

科目名	解剖生理学 II		
担当講師	栗原みな子	単位数 (時間)	2 単位 (45 時間) <1 年後期>
科目目標	人体の正常な機能について系統的に学び、生命現象の意味を看護学の視点で理解する。 【設定理由】人体の構造を系統的に理解し、看護の視点で活用できるように総合的に学ぶ。		
科目構成	回数	科目内容	学習方法
	1～4 5～8 9～12 13～22	身体機能の防御と適応 生殖・発生と老化のしくみ 体表から見た人体の構造 解剖生理学 総まとめ	講義
評価方法	1 回の筆記試験で評価する。		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院		

科目名	解剖生理学 III		
担当講師	栗原みな子	単位数 (時間)	1 単位 (15 時間) <3 年後期>
科目目標	臨地実習での具体的な事例から各機能障害別の解剖生理に照合し、臨床判断能力につながることを理解する。 【設定理由】看護師として常に解剖生理学に戻り、継続的に学んでいくことの重要性を再認識する。		
科目構成	回数	科目内容	学習方法
	1 2 3 4 5 6 7	解剖生理学総まとめ及びティーチング、臨床で必要な知識のレクチャー 消化器系 呼吸器系 循環器系 腎・泌尿器系 血液・体液 脳神経系 骨・運動器・口腔・その他	講義
評価方法	1 回の筆記試験で評価する。		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院		

科目名	生化学	教育内容	専門基礎分野 人体の構造と機能		
担当講師	木元 貴祥	単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <1 年前期>		
科目目標	生化学の基礎的知識を網羅的、体系的に学び人間の生命現象を科学的に理解する。 【設定理由】人体の構成成分である物質代謝や遺伝形式、分子生物学の基礎知識を学び病態生理の理解に役立てる。				
科目概要	回数	科目内容			
	1	生化学を学ぶための基礎知識			
	2	代謝の基礎と酵素、補酵素			
	3・4	糖質の構造と機能、糖質代謝			
	5・6	脂質の構造と機能、脂質代謝			
	7・8	タンパク質の構造と機能、タンパク質代謝			
	9	ポルフィリン代謝と異物代謝			
	10・11	遺伝子と核酸、遺伝子の複製、修復、組み換え			
	12・13	転写、翻訳と翻訳後修復			
	14・15	シグナル伝達とがん			
評価方法	1回の筆記試験により評価する。				
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 生化学 医学書院				

科目名	栄養学	教育内容	専門基礎分野 人体の構造と機能		
担当講師	山本純美	単位数 (時間)	1 単位 (15 時間) <1 年前期>		
科目目標	栄養の意義及び栄養状態の判定、栄養によって健康を維持・向上させる方法を総合的に理解する。 【設定理由】栄養学の知識を習得することで、食事の援助の専門性を高める。				
科目構成	回数	科目内容			
	1	人間栄養学と看護、栄養素の種類とはたらき			
	2	食物の消化と栄養素の吸収・代謝			
	3	エネルギー代謝、食事と食品			
	4	栄養ケア・マネジメント、栄養状態の評価・判定			
	5	ライフステージと栄養、臨床栄養			
	6	健康づくりと食生活			
	7	栄養食事療法とは、栄養食事療法の実際			
評価方法	1回の筆記試験で評価する。				
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 医学書院				

疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	病理学総論	教育内容	基礎分野人体の構造と機能		
担当講師	勝谷 友宏・日下 泰徳・上村信之	単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <1 年後期>		
科目目標	人体組織における病的状態の原因、発生機序、経過について学び疾病の成り立ちについて看護学の視点で理解する。 【設定理由】正常な人体の構造と機能の理解をもとに健康障害と回復過程の視点から科学的に健康状態を査定するための概要を学ぶ。				
科目構成	回数	科目内容			
	1	第1章 病理学で学ぶこと			
	2	第2章 細胞・組織の障害と修復、炎症			
	3・4	第5章 循環障害			
	5・6	第6章 代謝障害			
	7	第7章 老化と死			
	8	第8章 先天異常と遺伝子異常			
	9・10	第3章 免疫、移植と再生医療			
	11・12	第4章 感染症			
	13・14	第9章 腫瘍			
	15	臨床検査の基礎 臨床でよく行う検査			
評価方法	1回の筆記試験により評価する。				
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 医学書院、別巻 臨床検査 医学書院				

科目名	病態治療論Ⅰ		教育内容	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進				
担当講師	(1) 朝田真司 (3) 弁谷元丸 (2) 松岡隆久 (4) 若見達人		単位数(時間)	1単位 (30時間) <1年後期>				
科目目標	呼吸機能障害、循環機能障害のメカニズムを捉え主な疾患の病態・治療と生体に及ぼす影響について学ぶ。							
	設定理由 主な呼吸循環機能障害の治療について、解剖生理学と関連させて学びを深める。							
科目構成	回数	科目内容			担当講師 学習方法			
	① 1 2 3 4 5 6	病態治療論科目ガイド、学習方法の説明 呼吸機能障害内科 : 呼吸器の構造と機能、内科的治療を行う主要疾患について〔病態、症状、検査、治療、処置〕			内部教員 朝田 講義			
	② 7 8	呼吸機能障害外科 : 肺腫瘍・気胸・胸部外傷などの病態と外科的治療			松岡 講義			
	③ 9 10 11 12	循環機能障害内科 : 循環器の構造と機能、内科的治療を行う主要疾患について〔病態、症状、検査、治療、処置〕			弁谷 講義			
	④ 13 14	循環機能障害外科 : 先天性心疾患・弁膜症・血管の疾患等の外科的手術と術後管理 まとめ			若見 講義			
	15				内部教員			
評価方法	1回の筆記試験により評価する。							
教科書	(1)(2) 統一看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学[2] 呼吸器 医学書院 (3)(4) 統一看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学[3] 循環器 医学書院							

科目名	病態治療論Ⅱ		教育内容	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進				
担当講師	成田克浩		単位数(時間)	1単位 (15時間) <1年後期>				
科目目標	消化吸収のメカニズムを捉え、主な疾患の病態・治療と生体に及ぼす影響について学ぶ。							
	設定理由 主な消化吸収機能障害の治療について、解剖生理学と関連させて学びを深める。							
科目構成	回数	科目内容			担当講師 学習方法			
	1・2 3	消化吸収機能内科 : 消化器の構造と機能、内科的治療を行う主要疾患について〔病態、症状、検査、治療、処置〕			成田 講義			
	4・5 6・7	消化吸収機能外科 : 外科的治療を行う主要疾患について 〔病態、症状、検査、治療、処置〕						
評価方法	1回の筆記試験により評価する。							
教科書	統一看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学[5]消化器 医学書院							

科目名	病態治療論III		教育内容	専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の促進		
担当講師	① 長谷川 吉昭 ②山中 和樹 ③池田 弘毅 ④ 児玉 岳 ⑤土田 哲雄		単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <1 年後期>			
科目目標	排泄機能、内分泌・代謝、血液・造血器、アレルギー膠原病のメカニズムを捉え、主な疾患の病態・治療と生体に及ぼす影響について学ぶ。 設定理由各機能障害の治療について、解剖生理学と関連させて学びを深める。						
科目構成	① 1・2 3 ② 4・5 ③ 6・7 8 ④ 9・10 11・12 ⑤ 13・14 15	排泄機能障害腎内科 : 腎臓の構造と機能、主要症状と検査 腎機能障害による腎疾患の病態と治療 排泄機能障害泌尿器科 : 泌尿器系の機能障害による病態と治療 内分泌・代謝機能障害 : 主な内分泌疾患と代謝疾患の病態と治療 血液造血器機能障害 : 赤血球系・白血球系・リンパ網内系疾患、 異常タンパク血症・出血性疾患の病態と治療 感染症疾患、アレルギー膠原病 : 主なアレルギー疾患の症状と病態と治療、膠原病の病態と治療 まとめ	長谷川 山中 池田 児玉 土田 内部教員	講義 講義 講義 講義 講義 講義			
評価方法	1回の筆記試験により評価する。						
教科書	①② 統一看護学講座専門分野II成人看護学[8]腎・泌尿器 医学書院 ③ 統一看護学講座専門分野II成人看護学[6]内分泌・代謝 医学書院 ④ 統一看護学講座専門分野II成人看護学[4]血液・造血器[11]アレルギー膠原病感染症 ⑤ 統一看護学講座専門分野II成人看護学[11]アレルギー膠原病感染症 医学書院						

科目名	病態治療論IV		教育内容	専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の促進			
担当講師	① 原 秀憲 ② 松本 強		単位数 (時間)	1 単位 (15 時間) <2 年前期>				
科目目標	脳神経機能障害のメカニズムを捉え主な疾患の病態・治療と生体に及ぼす影響について学ぶ。 設定理由脳神経系の疾患について、解剖生理学と関連させて学びを深める。							
科目構成	① 1・2 3・4 ② 5・6 7	脳神経機能障害内科 : 脳の構造と機能、脳血管障害、髄膜炎、脳炎、筋無力症、パーキンソン病、ALS 等 主要疾患の病態と内科的治療 脳神経機能障害外科 : 脳内出血、頭部外傷、脳腫瘍等主要疾患の病態と外科的治療	原 松本	講義				
評価方法	1回の筆試験により評価する。							
教科書	①② 統一看護学講座専門分野II成人看護学[7]脳・神経 医学書院							

科目名	病態治療論V		教育内容	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進				
担当講師	①折戸 亮 ②樋上 敦		単位数 (時間)	1 単位 (15 時間) <2年前期>				
科目目標	運動機能障害、皮膚機能のメカニズムを捉え主な疾患の病態・治療と生体に及ぼす影響について学ぶ。 設定理由運動機能障害および皮膚機能障害について解剖生理学と関連させ学びを深める。							
科目構成	回数	科目内容			担当講師 学習方法			
	① 1・2 3・4 5 ② 6・7	運動機能障害 : 骨折、脱臼・捻挫及び打撲、骨・関節の炎症性疾患、 骨腫瘍などの運動器障害について [病態、症状、検査、治療、処置] 皮膚機能障害 : 主な皮膚科疾患の病態、検査、治療 アトピー性皮膚炎、湿疹、蕁麻疹等			折戸 講義 樋上			
評価方法	1回の筆記試験により評価する。							
教科書	① 系統看護学講座専門分野 II 成人看護学[10]運動器 医学書院 ② 系統看護学講座専門分野 II 成人看護学[12]皮膚 医学書院							

科目名	病態治療論VI		教育内容	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進				
担当講師	①横田光 武居智信 宮内啓輔 ②大家典子 ③松岡英生 ④町塚博文		単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <2年前期>				
科目目標	女性生殖器・眼・耳鼻咽喉・歯口腔機能のメカニズムを捉え、主な疾患の病態・治療と生体に及ぼす影響について学ぶ。 設定理由性教育を自分のこととして捉えると共に成長過程で体験していることが多い歯、眼、感覚器機能障害について解剖生理学と関連させ学びを深める。							
科目構成	回数	科目内容			担当講師 学習方法			
	① 1 2 3 4 5 6 ② 7 8 9 ③ 10 11 ④ 12 13 14 15	女性生殖機能障害 : 性行為感染症、性教育 主な女性生殖疾患の病態と治療 乳腺の疾患と治療 (外科的) 眼の機能障害 : 主な眼の疾患の病態、検査、治療 感染症、白内障、緑内障、網膜剥離等 歯口腔の機能障害 : 歯の異常、歯周組織の疾患、口腔領域の疾患治療 耳鼻・咽喉の機能障害 : 主な感覚器系疾患の病態、検査、治療 中耳炎、扁桃炎、メニエル病、難聴等 まとめ			横田 武居 宮内 大家 松岡 町塚 内部教員 講義			
評価方法	1回の筆記試験により評価する。							
教科書	① 系統看護学講座専門分野 II 成人看護学[9]女性生殖器 医学書院 ② 系統看護学講座専門分野 II 成人看護学[13]眼 医学書院 ③ 系統看護学講座専門分野 II 成人看護学[15]歯・口腔 医学書院 ④ 系統看護学講座専門分野 II 成人看護学[14]耳鼻咽喉 医学書院							

科目名	看護と病態治療	教育内容	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進
担当講師	成田克浩・和久田幸代	単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <2年前期>
科目目標	病態生理学を学ぶことで、損なわれた生理機能を回復したり失われた機能を補填するにはどうすればいいかを知り、治療や援助につなげる根拠を知る。 設定理由 疾病の理解だけでなく、対象者に対する援助を行う際の根拠を学ぶ。		
科目構成	回数	科目内容	担当講師 学習方法
	1 2・3 4・5 6・7 8・9 10・11 12・13 14・15	科目ガイダンス 病態生理学とは、病態生理と疾患・治療の関係 グループ学習① グループ学習② グループ学習③ グループ学習④ グループ学習⑤ グループ発表、評価とまとめ	和久田 成田 和久田 講義 講義 演習
評価方法	1回の筆記試験、課題、演習態度等により評価する。		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 病態生理学 医学書院、別巻 がん看護学 医学書院		

科目名	微生物学	教育内容	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進
担当講師	木元 貴祥	単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <1年前期>
科目目標	微生物の特徴と生体に及ぼす影響を理解し臨床的に重要な感染症に対する予防策について学ぶ 設定理由 微生物と生体の関係を明確にし、看護の視点で現在の感染症が強毒菌による頻度の低下と耐性菌の脅威の中にあることを理解する。		
科目構成	回数	科目内容	学習方法
	1・2 3・4 5・6 7・8 9・10 11・12 13・14 15	微生物と微生物学 細菌、真菌、原虫、ウィルスの性質 感染と感染症 感染に対する生体防御機能 感染源、感染経路からみた感染症 滅菌と消毒、感染症の検査と診断 感染症の治療、感染症の現状と対策 主な病原微生物と感染症	講義
評価方法	1回の筆記試験により評価する。		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学 医学書院		

科目名	臨床薬理学	教育内容	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進
担当講師	木元 貴祥	単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <1年後期>
科目目標	薬物の特性、作用・副作用、生体に及ぼす影響について学び薬物使用・管理について理解する。 設定理由 薬物の薬理作用及び人体への影響と薬物管理について学び臨床で有害作用を早期発見・対応できるようとする。		
科目構成	回数	科目内容	担当講師 学習方法
	1・2 3・4 5・6 7・8 9・10 11・12 13・14 15	薬理学を学ぶにあたって、薬理学の基礎知識 抗感染症薬、抗がん薬 免疫治療薬、抗アレルギー薬・抗炎症薬 抹消での神経活動に作用する薬物、中枢神経系に作用する薬物 循環器系に作用する薬物、呼吸器消化器生殖器系に作用する薬物 物質代謝に作用する薬物、皮膚科用薬・眼科用薬 救急の際に使用される薬物、漢方薬 消毒薬、輸液製剤・輸血剤	木元 講義
評価方法	1回の筆記試験により評価する。		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 医学書院		

健康支援と社会保障制度

科目名	総合医療論		教育内容	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度		
担当講師	橋本 創		単位数 (時間)	1単位 (15時間) <1年前期>		
科目目標	医療や看護のしくみ、医療の変遷、健康や病気の概念を理解し現代医療の課題とそれに対する新しい視点を学ぶ。 設定理由 健康への理解を深め、自らの健康について考え、ニードの多様化に伴う医療のあり方を考える。					
科目構成	回数	科目内容		学習方法		
	1	医療と看護の原点 (病と癒し)		講義		
	2	医療の歩みと医療観の変遷				
	3	私たちの生活と健康				
	4	科学技術の進歩と現代医療の最前線				
	5	現代医療の新たな課題				
	6	医療を見つめなおす新しい視点				
	7	保健・医療・福祉の潮流				
評価方法	1回の筆記試験により評価する。					
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 総合医療論 医学書院					

科目名	看護と公衆衛生		教育内容	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度		
担当講師	濱田昌範・森田幸子		単位数 (時間)	2単位 (30時間) <3年前期>		
科目目標	社会における公衆衛生学の目的を医療・看護の視点から捉え、健康的な生活、福祉社会をつくりあげる重要性、活動について理解する。 設定理由 人々の健康の保持増進のために公衆衛生活動と現代医療の諸問題と在り方について学び、看護の役割を考える。人間を取り巻く環境について現状と問題を理解し対策や活動の理解を深める。					
科目構成	回数	科目内容		担当講師 学習方法		
	1	序章 公衆衛生を学ぶにあたって		濱田 講義		
	2	第1章 公衆衛生のエッセンス				
	3	第2章 公衆衛生の活動対象				
	4	第3章 公衆衛生のしくみ				
	5	第4章 集団の健康をとらえるための手法 —疫学・保健統計—				
	6	第5章 環境と健康				
	7	第7章 国際保健				
	1	第6章 感染症とその予防対策		森田 講義		
	2	第8章 地域における公衆衛生の実践				
	3	第9章 地域における公衆衛生の実践				
	4	第10章 地域における公衆衛生の実践				
	5	第11章 学校と健康				
	6	第12章 職場と健康				
	7	第13章 健康危機管理・災害保健				
	8	まとめ				
評価方法	2回の筆記試験 (平均点) で評価する。					
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 医学書院					

科目名	社会福祉	教育内容	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度
担当講師	松村 聰一郎	単位数 (時間)	2 単位 (30 時間) <2 年前期>
科目目標	社会保障制度及び社会福祉の理論と制度を知り保健医療福祉との連携の必要性と活用方法を理解する。 設定理由 社会保障制度の意義や社会資源の活用を知り、継続看護のコーディネーターとしての自覚と責任を学ぶ。		
科目構成	回数	科目内容	学習方法
	1・2	社会保障制度と社会福祉 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向	講義
	3・4	医療保障制度	
	5・6	介護保険制度 (制度、特定、申請、認定、サービス、介護予防事業)	
	7・8	所得保障	
	9・10	公的扶助	
	11・12	社会福祉の分野サービス	
	13・14	社会福祉実践と医療・看護	
	15	社会福祉の歴史	
評価方法	1回の筆記試験で評価する。		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉 医学書院		

科目名	関係法規	教育内容	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度
担当講師	前島 良弘	単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <2 年後期>
科目目標	看護業務に携わる人の身分や業務について理解し、国民の健康な生活を維持するために必要な法令を理解する。 設定理由 生活が法によって守られ、つくられる現状を理解し、看護職に必要な法令の解釈と活用法について理解する。		
科目構成	回数	科目内容	学習方法
	1	看護師が法律を学ぶ目的 学習内容の概要	講義
	2	看護を取り巻く社会の現況と看護の対象および看護者の人生	
	3	重要な法改正	
	4	生命の始期・終期を考える (法と倫理の際)	
	5	看護行為の法的性格についての考察	
	6	看護職・看護学生にとっての基本法；保健師助産師看護師法の解釈	
	7	現行法規総覧・衛生法規一覧・保健衛生法規	
	8	予防衛生法規・医事関係法規・薬事関係法規	
	9	環境衛生法規・公害関係法規・労働関係法規・学校関係法規	
	10	社会保障制度の概要・社会保障制度の概説	
	11	公的扶助制度の概説	
	12	社会福祉制度の概説 (概要→児童福祉→母子福祉)	
	13	社会福祉制度の概説 (障害福祉→高齢者福祉)	
	14	社会福祉制度の概説 (被災者福祉→貧困者福祉→補遺)	
	15	医療関連の手帳・記録 医療・福祉に関する施設一覧	
評価方法	1回の筆記試験で評価する。		
教科書	看護学生のための法規と社会保障制度 ふくろう出版		